

## インテリア製図（インテリア類型）

|         |                 |     |   |       |             |
|---------|-----------------|-----|---|-------|-------------|
| 教 科     | 工業（建築インテリア）     | 単位数 | 2 | 学科・学年 | 建築インテリア科 3年 |
| 使用教科書   | インテリア製図（実教出版）   |     |   |       |             |
| 副 教 材 等 | 担当教員が配布するプリント 他 |     |   |       |             |

## 「インテリア製図」はどんな科目？

インテリア製図の分野において、建築製図も欠かすことのできない要因です。そこで、この製図の授業では、建築製図の基本図面のかき方を学習し、建築の基礎的な知識と図面を正しく読み取れる能力と態度を育てます。

## 「インテリア製図」の学習の特徴は？

建築製図に関する決まりやかき方を、実際の図面をかきながら体験的に学習していきます。

## 「インテリア製図」で大切なこと（留意点）は？

製図は正確で美しい図面をかくことも大切ですが、一番大切なことは定められた時間内にかき上げること、すなわち「提出期限」を守ることです。

## 1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

|             | 月  | 学 習 内 容（单元名）             | 学 習 の ね ら い                        |
|-------------|----|--------------------------|------------------------------------|
| 1<br>学<br>期 | 4  | ・ 建築製図の概要                | ・ 建築製図の概要について学習する。<br>・ 尺貫法を学習する。  |
|             | 5  |                          |                                    |
|             | 6  | ・ 住宅平面図（課題1）             | ・ 平面図のかき方を学習する。                    |
|             | 7  |                          |                                    |
| 2<br>学<br>期 | 9  | ・ 住宅平面図（課題2）             | ・ 再び平面図のかき方を学習する。                  |
|             | 10 | ・ 住宅かなばかり図（課題3）          | ・ かなばかり図のかき方を学習する。                 |
|             | 11 |                          |                                    |
| 3<br>学<br>期 | 12 | ・ 住宅設計平面図<br>「将来の家」（課題4） | ・ 住宅設計平面図<br>「将来の家」（課題4）           |
|             | 1  |                          |                                    |
|             | 2  | ・ 発表会（評価会）               | ・ クラス内で発表会をして、他の人の作品を評価し、自己の参考にする。 |

## 2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

|                    |  |                            |
|--------------------|--|----------------------------|
| 評価は、次の4つの観点から行います。 |  |                            |
| 関心<br>意欲<br>態度     | ・製図に関心を持ち、その知識と技術技能の習得に意欲的に取り組む姿勢、態度を身に付ける。                            | ・授業態度、姿勢<br>・出席状況<br>・提出状況 |
| 思考<br>判断<br>表現     | ・家具製図の基礎から応用の思考を深め、知識と技能の技法を正確に読み取れ、判断できるとともに、実際に活用できる技法で図面が作成され表現できる。 | ・作業効率<br>・取組状況             |
| 技能                 | ・製図が正確に読み取れ、基礎から応用まで図面の構想を行い、正確で丁寧な作図が出来る。                             | ・作品の完成度<br>・正確さと丁寧さ        |
| 知識<br>理解           | ・製図の基礎から応用を身に付け、その知識と技術技能の技法を正しく理解し、将来の実践力が習得されている。                    | ・質疑応答<br>・設計変更<br>・改善と応用   |

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ・授業態度
- ・作品のできばえ（正確に、美しく、はやく）
- ・提出状況

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して評価します。

## 3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

|   |
|---|
| <p>普段の授業を真剣に取り組み、作品の提出日を守ってください。</p> <p>「集中力」、「約束を守る(提出期限)」、「本人なりの力を発揮」</p> |
|---|